

無防備な心に火災がかくれんぼ

平成27年の火災・救急・救助概況



火災

区分	平成27年	平成26年	増減	
火災件数合計(件)	117	122	▲5	
火災種別	建物火災(件)	60	55	5
	うち住宅火災(件)	31	24	7
	林野火災(件)	5	15	▲10
	車両火災(件)	16	10	6
	船舶火災(件)	0	0	0
	その他の火災(件)	36	42	▲6
	死者(人)	3	3	0
うち住宅火災(人)	3	2	1	
負傷者(人)	11	16	▲5	

▲は減少を示します。平成27年中の数値は速報値です。



市内で起きた住宅火災の様子

平成27年中に市内で発生した火災は117件で、そのうち住宅火災は31件でした。また、火災による死者は3人で、住宅火災によるものでした。

前年と比較すると火災件数は5件減少し、その内建物火災は5件増加、林野火災は10件減少しました。

火災原因については、全体では「たき火」が最も多く、次いで「放火・放火の疑い」となり、住宅火災の原因では、「こんろ」「ストーブ」による火災が多く見られました。



救急

区分	平成27年	平成26年	増減	
出動件数(件)	14,306	14,229	77	
搬送件数(件)	12,969	12,862	107	
搬送人員(人)	13,128	13,041	87	
主な事故種別	交通(件)	1,289	1,355	▲66
	一般負傷(件)	2,317	2,211	106
	急病(件)	8,978	8,867	111

▲は減少を示します。平成27年中の数値は速報値です。



平成27年中の市内における救急出動件数は14,306件で、前年に比べ77件増加し、市町村合併後過去最多の出動件数となりました。

事故種別で見ると、例年同様、急病が8,978件と最も多く、次いで一般負傷の2,317件、交通の1,289件の順となっています。

また、傷病程度では、全体の約半数を軽症者が占め、この中にはタクシー代わりに救急車を呼んだとみられるケースもありました。



救助

区分	平成27年	平成26年	増減	
出動件数(件)	105	126	▲21	
活動件数(件)	57	85	▲28	
救助人員(人)	61	129	▲68	
主な事故種別	火災(件)	1	4	▲3
	交通事故(件)	66	63	3
	水難事故(件)	9	12	▲3
	建物等による事故(件)	13	9	4

▲は減少を示します。平成27年中の数値は速報値です。



救助訓練の様子

平成27年中の市内における救助出動件数は105件で、前年に比べ21件の減少となりました。事故種別で見ると、最も多いのが交通事故の66件で、全体の約63%を占めています。

前年と比べると救助出動件数は21件減少しましたが、交通事故による救助出動は3件増加しました。